

第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する

C. イエスは弟子訓練によって撤退を終える

デイリー・ジーザス・ニュース #137

4. イエスの「真の王国の偉大さ」についての教え、第2部：良い例

ベーステキスト: マタイ18.7-9（並行テキスト：マルコ9.43-50）

6「もし誰かが、わたしを信じるこれらの幼子たちの一人でもつまずかせるなら、その者の首に大きな石臼をかけられて海の深みに沈められた方がよいでしょう。

7「つまずきをもたらすものによって、世は災いを受けます。このようなことは必ず起こりますが、つまずきをもたらす人にも災いが起こります。

8もしあなたの手が足があなたをつまずかせるなら、それを切り落として捨て去りなさい。両手両足がそろったまま永遠の火に投げ込まれるよりは、片手片足のまま命に入る方がよい。

9「もしあなたの片目があなたをつまずかせるなら、えぐり出して捨てなさい。両目が揃ったまま地獄の火に投げ込まれるよりは、片目で永遠の命に入る方がよい。そこでは」それを食べる虫は死なず、火は消えない。」「(イザヤ66:24)

」すべての人は火で塩漬けにされるでしょう。塩は良いものです。しかし、もし塩気がなくなってしまうたら、どうしてまた塩気を増すことができるでしょうか。互いに塩を保ち、平和を保ちなさい。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**イエスの言葉は赤いイタリック体で書かれています**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	カペナウム
タイムライン	9月（33月）
イエスの生涯の文脈	第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する
	C. イエスは弟子訓練によって撤退を終える
タイトル	4. 「真の王国の偉大さ」第2部...良い模範となる

コメント：

第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する

C. イエスは弟子訓練によって撤退を終える

イエスはマタイ18章で、真のしもべの態度を示す一連の特徴について語られました。真の偉大さは、神と人への子どものような愛ある奉仕にあると説明した後(18.1-5)、しもべとは模範を示して導く者(18.7-9)、世話をする者(18.10-14)、弱い者や墮落した者を立ち直らせる者(18.15-20)、そして無条件に許す者であることを示されました。これらはすべて無条件の愛の表現であり、神自身の偉大さと栄光を決定づける特徴です。したがって、愛ある奉仕こそが、神の国における真の偉大さを構成するのです。

今日の朗読でイエスは、謙虚な僕が何よりもまず自らの模範によって導くことに焦点を当てています。人々、特に男性は、偉大さを権力の行使と捉えがちです。使徒たちが自らの「偉大さ」を評価する際に、まさにその誤りを犯していたのです。イエスは、真の僕が模範を示すリーダーシップの力と影響力の完璧な模範です。

使徒たちにこの教えを与える前にイエスが最後にされたことは、ペテロとご自身のために神殿税を支払うことでした。これは、今日の朗読でイエスが述べていたことの完璧な例です。私たちは誰かを愛するとき、その人の最善を願います。つまり、自分がその人にどのような影響を与えているかを深く気にかけるということです。私たちの動機は、自分の模範の力によって相手を傷つけることなく、築き上げることなのです。

イエスは、神殿税を免除されていたにもかかわらず、周囲の人々に不快感を与えないよう、特に注意を払いました。イエスは、自ら説いたことを実践されました。この教えの中で、イエスは弟子たちも、周囲の人々に破壊的な例を示して不快感を与えないよう注意すべきだと述べています。私たちは、自分の人生が他者にどのような影響を与えるかについて責任を負っているのです。

弟子としての生き方に関する最初の重要な教え(マタイ5-7章)の中で、イエスは私たちに**こう命じられました。「あなたがたの光を人々の前に輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」**(5.16) 愛にあふれ謙虚な神の僕たちは、まず神を愛し、それゆえ、神がすべてのことにおいて栄光を受けられることを望みます。神を深く愛するがゆえに、神の僕たちは人々をも無条件に愛し、それゆえ、すべての人が自分たちと同じように神の愛と栄光を経験することを望みます。

良い模範は、他の人々が私たちの行いの源であり力である神を見るように導くものでなければなりません。そうすることで、神が栄光を受けられるのです。それが、他の人々に良い模範を示す正しい動機です。自分の栄光を得るために模範を示すのは、間違った動機です。それは偽善です。

「**良い模範**」と**真のしもべの模範**を分ける重要な特質があります。それは、私たちの罪に対する態度です。偽善者は、まるで自分に罪がなく、神の御心を行う上で何の苦悩もないかのように振る舞います。彼らは、自らを徹底的に正しい人間として見せかけます。これは致命的で、全く偽りの模範です。人々の前に置くことのできる最悪のつまずきの石です。イエスが最も憎まれた「模範」はまさにこれでした。

真に「偉大な」神の僕たちは神を愛し、その愛ゆえに常に自らの罪を認め、憎みます。彼らは自らの罪深い性質に目をつぶるのではなく、容赦なくそれと向き合う人々の模範です。イエスが言われたように、彼らは

第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する

C. イエスは弟子訓練によって撤退を終える

それを「切り離し」、絶えず自分から取り除きます。神の謙虚な僕たちは、たとえ日々の生活の中で罪と向き合わなければならないとしても、自らの罪に対して「ゼロ・トレランス」の姿勢を貫きます。

自分自身の義の欠如を常に意識することで、「偉大な」僕たちはキリストの赦しと清めを通してキリストの義に常にとどまるようになります。

自らの罪深さに正直に向き合う人は謙虚な奉仕者です。彼らのプライドは、赦しを求める気持ちによって常に打ち砕かれています。自らの罪に打ちひしがれている人は、他の人々を同じ道に導かないようにと心を砕いています。彼らの模範は、絶え間ない悔い改めと、愛する神からの新たな赦しです。これこそ、他の罪深い人々が何よりも見るべき模範です。唯一の義なる方はイエスです。私たち皆は罪深い者であり、イエスに従うために人生において常に変化を必要としています。

「偉大な」しもべは、謙虚に悔い改めの生き方を示し、救い主の限りない赦しと恵みを通して自らの罪深さを認め、それと向き合います。これらは神に栄光を帰す「善行」です。これは、他の人々がイエスの救いを受け入れ、さらなる罪に陥ることを避けるように導く模範です。これは私たち皆が必要とする模範です。

応用：

自分自身の罪と徹底的に向き合うことによってのみ、他の人々にも同じように向き合うよう影響を与えることができます。イエスは真の義の模範です。私たちは、イエスの恵みによる悔い改めと変革の模範となる必要があります。それ以外のことはすべて偽善です。

正直、あなたはどんな例を示しているのですか？